

訂正

聖地リゾート!!!!

和歌山

和歌山県 資料提供

令和7年11月4日

## 「令和7年度ジェンダー平等推進啓発ポスター

## コンクール入賞者の決定について」の訂正について

令和7年10月31日付けで資料提供しました、「令和7年度ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール入賞者の決定について」に添付した最優秀賞者の作品紹介資料について、下記（別紙）のとおり訂正します。

### 記

#### ◆小学校高学年の部

和歌山大学教育学部附属小学校 4年生 小島桐吾さんのコメント

【誤】性別にとらわれず、自分のやりたいことを、やりたいようにできる世の中にしていきたいという思い、背景のバラの花は、一人一人が、自分らしい花を咲かせようという思いを込めています。

【正】性別に関係なく、みんなが自分らしく夢を持って生きられる未来を表現しました。標語には、多様な考え方があっていいという思いをこめました。誰もが自分のやりたいことに向かって進める未来にしていきたいです。

#### ◆中学生の部

和歌山市立西脇中学校 1年生 前田花凜さんのコメント

【誤】性別にとらわれず、自分のやりたいことを、やりたいようにできる世の中にしていきたいという思い背景のバラのハナは、一人一人が、自分らしい花を咲かせようという思いを込めています。

【正】自分らしい、自分のやりたいことをやっていいという思いで描きました。

#### （連絡先）

ジェンダー平等推進センター 企画課

担当：高橋、廣田

電話：073-435-5245

# 令和7年度 ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール 入賞作品

## 最優秀賞 4点

### 小学生低学年の部



和歌山市立名草小学校  
3年生 嶋 康勝

今、仕事をしている人たちは男も女も関係なく働いている人が多いと思います。それに、今は外国から来て働いている人も多いと思います。ぼくは、前に、お父さんとお兄ちゃん、妹とお母さんの誕生日に花屋さんへ行って花束を買いに行くと、男の人がとってもキレイに作ってくれました。ぼくの中で、花屋さんは、「女の人」という考えが覆っていたかもしれない。けれど、色々な仕事も、今は自分からえらべる時代になっています。ぼくも大きくなったら、自分がやりたい仕事を見つけたいです。

### 小学生高学年の部



和歌山大学教育学部附属小学校  
4年生 小島 桐吾

性別は問わず、自分がやりたいことを、やりたいようにできる世の中にしてほしいという思い。背景のバラの花は、一人一人が、自分らしく花を咲かせようという思いを込めています。

性別に関係なく、みんなが自分らしく夢を持って生きられる未来を表現しました。標語には、多様な考え方があっていいという思いをこめました。誰もが自分のやりたいことに向かって進める未来にしていきたいです。

### 中学生の部



和歌山市立西脇中学校  
1年生 前田 花凛

性別は問わず、自分がやりたいことを、やりたいようにできる世の中にしてほしいという思い。背景のバラの花は、一人一人が、自分らしい花を咲かせようという思いを込めています。

自分らしい、自分のやりたいことをやっていいという思いで描きました。

### 高校生の部



和歌山県立和歌山商業高等学校  
1年生 溝田 流雅

男性がはたらき、女性は家で家事というイメージが未だにのこっているの、性別も関係なく、好きな仕事で、活躍のできる社会に変わって欲しいと思いました。

和歌山県 資料提供

令和7年10月31日

知らないオドロキが色々々

聖地リゾート!!!!!!  
Seichi Resort  
WAKAYAMA

和歌山

## 令和7年度ジェンダー平等推進啓発 ポスターコンクール入賞者の決定について

ジェンダー平等推進センターでは、性別、性自認及び性的指向にかかわらず、一人一人の人権が尊重され、誰もがその個性と能力を十分発揮できる社会を目指し、様々な取り組みを行っています。

県内の小学生・中学生・高等学校等の児童・生徒からポスターを募集し、今年度は、選考の結果、最優秀賞4点、優秀賞8点が選出されました。

- ◆応募数：35点（小学生低学年5点、小学生高学年7点、中学生11点  
高等学校等生徒12点）
- ◆募集期間：令和7年7月1日～9月16日
- ◆選考：和歌山県ジェンダー平等推進啓発ポスター入賞作品選考委員会
- ◆表彰：最優秀賞受賞者については、「りいぶるフェスタ2025」会場  
において、表彰を行います。
  - (1)日時：令和7年11月22日（土） 13:00～
  - (2)場所：北コミュニティーセンター（和歌山市直川326番地の7）  
2階多目的ホール
- ◆作品の活用：入賞作品は、「りいぶるフェスタ2025」会場において展示す  
る他、ジェンダー平等の社会づくりに向けた様々な啓発に活用し  
ます。

\* 入賞者及び作品については、別紙をご確認ください。

（連絡先）

ジェンダー平等推進センター 企画課

担当：高橋、廣田

電話：073-435-5245

令和7年度「ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール」入賞者

最優秀賞

○小学生低学年の部

|      |            |    |
|------|------------|----|
| 嶋 康勝 | 和歌山市立名草小学校 | 3年 |
|------|------------|----|

○小学生高学年の部

|       |                |    |
|-------|----------------|----|
| 小島 桐吾 | 和歌山大学教育学部附属小学校 | 4年 |
|-------|----------------|----|

○中学生の部

|       |            |    |
|-------|------------|----|
| 前田 花凜 | 和歌山市立西脇中学校 | 1年 |
|-------|------------|----|

○高校生の部

|       |                |    |
|-------|----------------|----|
| 溝田 流雅 | 和歌山県立和歌山商業高等学校 | 1年 |
|-------|----------------|----|

優秀賞

○小学生低学年の部

|       |                |    |
|-------|----------------|----|
| 赤坂 凧彩 | 和歌山大学教育学部附属小学校 | 3年 |
| 小野 莉歩 | 和歌山市立藤戸台小学校    | 3年 |

○小学生高学年の部

|       |            |    |
|-------|------------|----|
| 杖村 優妃 | 和歌山市立松江小学校 | 6年 |
|-------|------------|----|

○中学生の部

|       |             |    |
|-------|-------------|----|
| 苔原 由依 | 田辺市立高雄中学校   | 1年 |
| 平田 愛葉 | 田辺市立高雄中学校   | 1年 |
| 吉田 沙奈 | 海南市立下津第一中学校 | 1年 |

○高校生の部

|        |               |    |
|--------|---------------|----|
| 浦野 紗永花 | 和歌山県立有田中央高等学校 | 3年 |
| 坂本 瑞姫  | 和歌山県立桐蔭高等学校   | 1年 |

# 令和7年度 ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール 入賞作品

## 最優秀賞 4点

### 小学生低学年の部



和歌山市立名草小学校  
3年生 嶋 康勝

今、仕事をしている人たちは男も女も関係なく働いている人が多いと思います。それに、今は外国から来て働いている人も多いと思います。ぼくは、前に、お父さんとお兄ちゃん、妹とお母さんの誕生日に花屋さんへ行って花束を買いに行くと、男の人がとってもキレイに作ってくれました。ぼくの中で、花屋さんは、「女の人」という考えが残っていたかもしれない。けれど、色々な仕事も、今は自分から選べる時代になっています。ぼくも大きくなったら、自分がやりたい仕事を見つけたいです。

### 小学生高学年の部



和歌山大学教育学部附属小学校  
4年生 小島 桐吾

性別にとらわれず、自分がやりたいことを、やりたいようにできる世の中にしていきたいという思い。背景のバラの花は、一人ひとりが、自分らしい花を咲かせようという思いを込めています。

### 中学生の部



和歌山市立西脇中学校  
1年生 前田 花凜

性別にとらわれず、自分がやりたいことを、やりたいようにできる世の中にしていきたいという思い。背景のバラの花は、一人ひとりが、自分らしい花を咲かせようという思いを込めています。

### 高校生の部



和歌山県立和歌山商業高等学校  
1年生 満田 流雅

男性がはたらき、女性は家で家事というイメージが未だにのこり続けているので、性別も関係なく、好きな仕事で、活躍のできる社会に変わって欲しいと思いました。



# 令和7年度 ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール 入賞作品

## 優秀賞 8点

### 小学生低学年の部



和歌山大学教育学部附属小学校  
3年生 赤坂 凧彩

男の子でも女の子でも、だれでも着たいふくをきるのが、もっとあたり前になってゆくといいと思います。くふうしたところは、「なにいろ」の文字をふくの色と一っしょにしたところです。



和歌山市立藤戸台小学校  
3年生 小野 莉歩

みんな、それぞれ、好きなものやすきなことに自分の気持ちを大事にして、かがやいてほしいです。

### 小学生高学年の部



和歌山市立松江小学校 (田辺絵画教室)  
6年生 枝村 優妃

最初は、背景をピンクと水色にしようと思ったのですが、それだと差別感が出てしまって、あまりなっとくいかなかったで、個性のあふれる虹色にしました。

### 中学生の部



田辺市立高幡中学校  
1年生 荻原 由依

青と赤をなじませて、仲良しということを表現し、背景の黄色は、ウキウキしていて、心から輝いているということを表現しています。普通を気にせず、自分の思うように生きてほしいということを伝えています。



田辺市立高幡中学校  
1年生 平田 愛菜

将来、何の職業になってもいいという事をイメージしました。

### 高校生の部



和歌山県立有田中央高等学校  
3年生 瀧野 紗永花

男性でも、女性でも好きな恰好をして、好きに生きるのは自由だということを伝えたかった。



海南市立下津第一中学校  
1年生 吉田 紗奈

性別によって、職業を自由に選べない社会はおかしいとおもう。みんなが、好きな仕事につけるように願ってこのポスターを書きました。



和歌山県立桐蔭高等学校  
1年生 板本 瑠姫

男のだから、女の子だからとか関係なく、何の遊びをしてもよいし、何役でもよいし、何になっても良い。みんなが、HAPPYだったら、良いなあという思いを込めて描きました。

## 令和7年度 ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクールの概要

### 1 目的

ジェンダー平等推進に関する啓発ポスターの作成を通して、性別、性自認及び性的指向にかかわらず、誰もが個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らせる社会への理解を深める。

### 2 開始年度

平成12年度から

### 3 応募資格

和歌山県内に在住、又は通学する小学生、中学生及び高等学校等（高等学校（特別支援学校含む）（1～3年生）

### 4 部門

- （1）小学生低学年の部（1～3年生）
- （2）小学生高学年の部（4～6年生）
- （3）中学生の部
- （4）高等学校等の部

### 5 応募総数

35点（小学生低学年 5点、小学生高学年 7点、中学生 11点、高等学校等生徒 12点）

### 6 応募校数

19校（小学校 7校、中学校 7校、高等学校等 5校）

### 7 ジェンダー平等推進啓発ポスター入賞作品選考委員会

・令和7年10月9日（木）に開催

・委員名

益山 恵（和歌山県美術家協会洋画部 部長）  
沖本 易子（弁護士）  
木村 直美（和歌山労働局雇用環境・均等室長）  
濱岡 弘行（和歌山県ジェンダー平等推進センター所長）

・選考

部門毎に、評価点数が上位の作品の中から委員協議により、最優秀賞作品と優秀賞作品を選考

### 8 表彰

入賞者には、次の賞を授与する。

・最優秀賞 賞状と副賞 4作品（各部門1作品）  
・優秀賞 賞状 8作品

※最優秀賞受賞者については、令和7年11月22日（土）開催の「りいぶるフェスタ2025」会場にて表彰。併せて入賞作品を展示。

### 9 作品の活用

入賞作品は様々な啓発事業に使用。